

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：越谷アリタキ緑の会

22A-29

代表者：会長 茂櫛孝蔵

URL :

1. 活動が必要とされた状況

植物学者である故・有瀧龍雄氏が所有していた Aritaki Arboretum は、かつては国際的な植物園自然保護国際機構（BGCI）に登録されていた希少な樹木植物園である。

2002年に市に遺贈、8年間放置され、登録も抹消されていた植物園を有志市民の手で復元整備し、2010年に『越谷アリタキ植物園』として開園した。【越谷アリタキ緑の会】の会員が運営・管理に従事、会員数は66名です。（2020年1月現在）

地域の環境教育・学習・情操教育の拠点として、広報活動を続け、魅力ある展示室・植物園づくりを目指しています。2020年には、開園10周年記念事業を計画。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

ガイド班・樹木班・野草班・企画広報班の4つの班に分かれ、班毎に毎月1-2回定例会を開催、毎水曜日の午前中は園内清掃を行っている。班長/副班長会議を年8回、全体会議は年4回開催、市と協議しながら活動している。毎日曜日にはガイド班による無料の園内ガイドを行っている。



展示室内での全体会議



温室内の展示室を改善

3. 活動の成果

- ・ 越谷アリタキ植物園植生調査報告書（第4報）を発行、次号の発行を目指す。
- ・ 展示方法を工夫、展示物は季節に合わせて交換。
- ・ 小学校の課外授業を支援、3校延べ4回、夏休み子どもイベント、自然教室を開催。
- ・ 2018年埼玉県より環境大賞奨励賞を授与される。



有滝忠彦氏に植物園の沿革を拝聴

4. 今後に残された課題

- ・ アリタキ植物園図鑑（仮称）の監修作業を加速。
- ・ 会員自身が研修に励み、展示室等の更なる向上を図る。
- ・ 出前講座・広報活動を継続、植物園として地域の環境教育・情操教育の中心基地・植物園を目指す。



【筑波実験植物園・視察研修会】